ふれあいと対話が築く明かるい社会

〝社会を明るくする運動〟横芝町実行委員会では、推進月間中の7月16日、少年の非行防止と更生の援助を重点目標に〝社会を明るくする運動〟を実施しました。

横芝駅前で乗降客にこの運動の呼び掛けやちらしを配ったり、「青少年の登校拒否と非行防止」についての講演会を行いました。

「ふれあいと　対話が築く明るい社会」――わたしたちのちょっとした心遣いや気配りが、非行に走った少年や犯罪を犯した人たちを、立ち直らせるひとつのきっかけになるかもしれませんね。

JR横芝駅でちらしを配布

人形劇を楽しむ

子どもたちは童話の世界へ

7月25日、千葉大学学生による人形劇公演が町文化会館で行われました。

この日は150名の子どもたちが集まり、「はだかの王様」ほか音楽に合わせて人形が踊る「ボードビル」などを見て、楽しいひとときを過ごしました。

非核平和を願って

反核平和の火リレー

7月30日、非核平和を祈って、日本青年学生平和友好祭千葉県実行委員会主催の〝反核平和の火リレー〟が行われ、横芝町で中継しました。

町長代理で出席した實川堅司郎助役は、「町をあげて非核平和を推進しているところですが、核のない平和な社会となり、この運動が実り多いものになることを祈ります。」と、あいさつしました。

メッセージを読みあげる
実行委員会のメンバー

文芸

俳句

白地着て書院に読書したくなり　伊藤　啾霜

風鈴の音色に秋のしのび来る　海保　きみ

穂ばらみの色となりたる青田かな　勝又やすのり

濯ぎ干す陽のまぶしさや蟬の声　鈴木　南知

夕風や耐へて吾が身の置き處　戸村　静華

戒名の数だけダリヤ剪り揃ふ　行方はじめ

夕風やとろりと暮れる伊勢の海　藤代　ゆう

夕風や赤燈点る防波堤　山口　一秋

新と旧それぞれありて村の盆　若梅あやめ

子の墓のぼんぼんダリア瑞々し　（選者）土屋　栗水

短歌

夕焼けの雲に暑さを残しつつ夏の太陽丘に沈めり　八角　三枝

トラックの荷台にシート敷きつめてビニールプールにはしやぐ幼子　中越美代子

ぷかぷかと粉の上をば歩むがに畑中の道乾きてゐたり　永藤　滋

ホウホウと呼ぶ声高しかがり火をたきたる鵜舟近づきて来ぬ　土屋　五六

女の孫は受話器肩まで持ち上げてハイハイハイを繰り返し言ふ　鈴木　やす

丙午の年に生まれし吾が娘嫁ぎて倖せな日々過しゐつ　木川　布佐

強き日をさけて木陰にはこび込む挿芽せし菊移植なしつつ　伊藤　文子

活きのよき鰹の腹はためらはず夫の好める塩辛にする　秋葉　悦子

順調に出穂を迎へる季となり米価を下げるニュースまた聞く　秋葉　とく

おじいちゃんの靴を片側はく幼見よと声あげ部屋に入りきぬ　（選者）斎藤つね子